

## FX10 スーパーコンピュータシステム「非優先ジョブクラス」の設定について

FX10 スーパーコンピュータシステムでは、提供可能な計算リソース（トークン）の残量が無くなったため 2013 年度はトークンに係わる利用申込を締め切りましたが、これに伴い昨年度と同様に、トークンが無い場合でもジョブ実行を可能とする環境を以下の通り提供しています。

### 非優先ジョブクラス（低プライオリティキュー）の設定

FX10 スーパーコンピュータシステムでは、ジョブ実行ごとに「トークン」を消費します。そのため、ジョブ実行時にジョブが使用するトークン残量が「なし」あるいは「不足」の場合には、ジョブ実行ができなくなります。この時、提供可能な計算リソースの残量枯渇による申込締め切り前であれば「トークンの追加」をお申込みいただけるのですが、締め切り後はトークンを追加することができません。そこで、トークン残量が「なし」あるいは「不足」の場合でも、リソースに余裕がある場合に限りジョブ実行を可能とする、通常より優先度を下げたジョブ実行環境「非優先ジョブクラス（低プライオリティキュー）」を設定（提供）します（インタラクティブジョブ、ログインノードの利用は現行どおりです）。

### 非優先ジョブクラス（低プライオリティキュー）の制限

本制度は、ジョブ実行時に必要なトークンが「なし」あるいは「不足」の利用者についてジョブ実行を可能とするため、トークンを有する利用者より **ジョブ実行優先度を低く設定** します。そのため、通常の利用とは、以下の点が大きく異なります。

- 提供可能な計算リソースの残量枯渇による申込締め切り後の措置とします。**そのため、トークンの追加が可能な場合には、非優先ジョブクラスの運用は行われませんのでご注意ください。**
- 利用できる最大ノード数は、申込ノード数までとします（ただし、パーソナルコース 1 は 12 ノード、コース 2 は 24 ノードまで）。
- 制限（経過）時間は、通常利用の 1/4 とします。
- 非優先ジョブクラス（低プライオリティキュー）で実行される同時ジョブ数はキュー毎に "1" とします（投入できるジョブ数は現行と同じです）。ただし、計算リソースに余裕がある場合には、実行される同時ジョブ数は変更される場合があります。
- 計算リソースに空きがある場合でも、ジョブが実行されるとは限りません。**通常はジョブ実行を抑止しており、実行可能となり次第、スケジューリングしますのでジョブをキューに投入してお待ちください。

### ジョブクラス制限値（2013 年 1 月 8 日変更）

トークン残量	キュー名	ノード数	制限（経過）時間	メモリ容量 (GB)
あり	debug	1 ~ 240	30 分	28
	short	1 ~ 72	6 時間	28
	(regular)			
	small	12 ~ 216	48 時間	28
	medium	217 ~ 372	"	"
	large	373 ~ 480	"	"
	x-large	481 ~ 1,440	24 時間	"
なし (不足) ※	(regular-low)			
	small-low	12 ~ 216	12 時間	28
	medium-low	217 ~ 372	"	"
	large-low	373 ~ 480	"	"
	x-large-low	481 ~ 1,440	6 時間	"

※ ジョブ実行時に必要なトークン残量が「なし」あるいは「不足」の場合、利用できるノード数は、申込ノード数まで（ただし、パーソナルコース 1 は 12 ノード、コース 2 は 24 ノードまで）。

